



PREMIER
BUSINESS
PARTNER

住商情報システムが提案する 「JBoss移行へのススメ」



住商情報システム株式会社
プラットフォーム事業部門
ITエンジニアリング事業部

These materials can be reproduced only with
Sumisho Computer Systems Corporation official approval.

はじめに

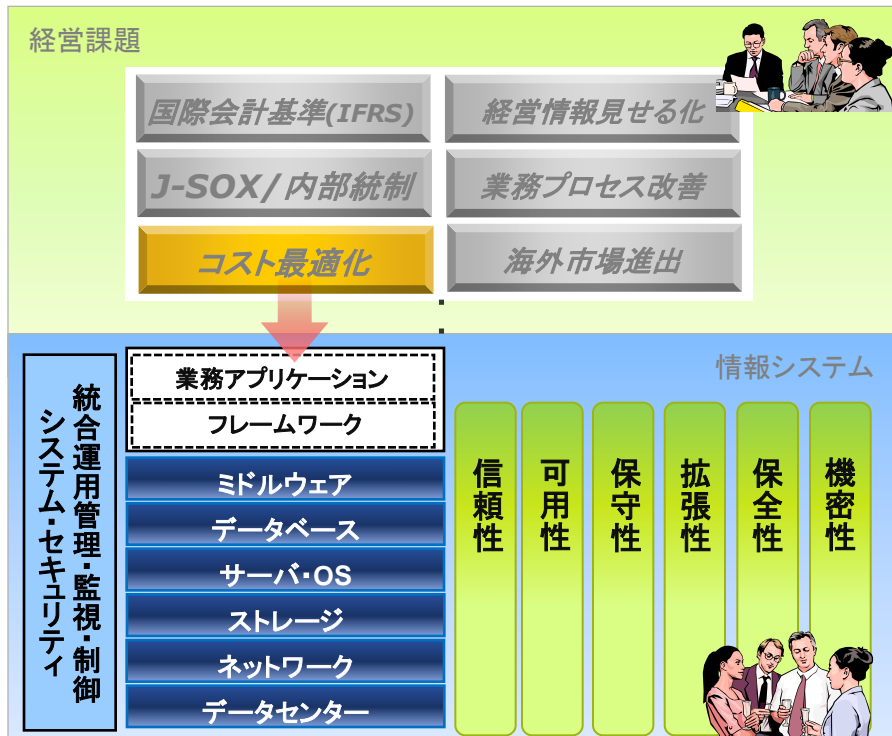
本セッションの内容・テーマ

“IDC Japan、2009年の国内IT市場予測を下方修正前年比5.6%縮小へ”

IDC Japanは2009年の国内IT市場予測を前年比5.6%減に下方修正した。金融危機の影響などによるもので、2010年以降は成長に転ずるとみている。IDC調査結果より 2009年7月31日

<http://www.idcjapan.co.jp/Press/Current/20090730Apr.html>より

企業の現状



最後のセッションでは

サーバ・OS分野に続いて、**「ミドルウェア=JBoss移行」**によるTCO削減案をご紹介します。

これにより、経営課題に対しより投資が可能になります。

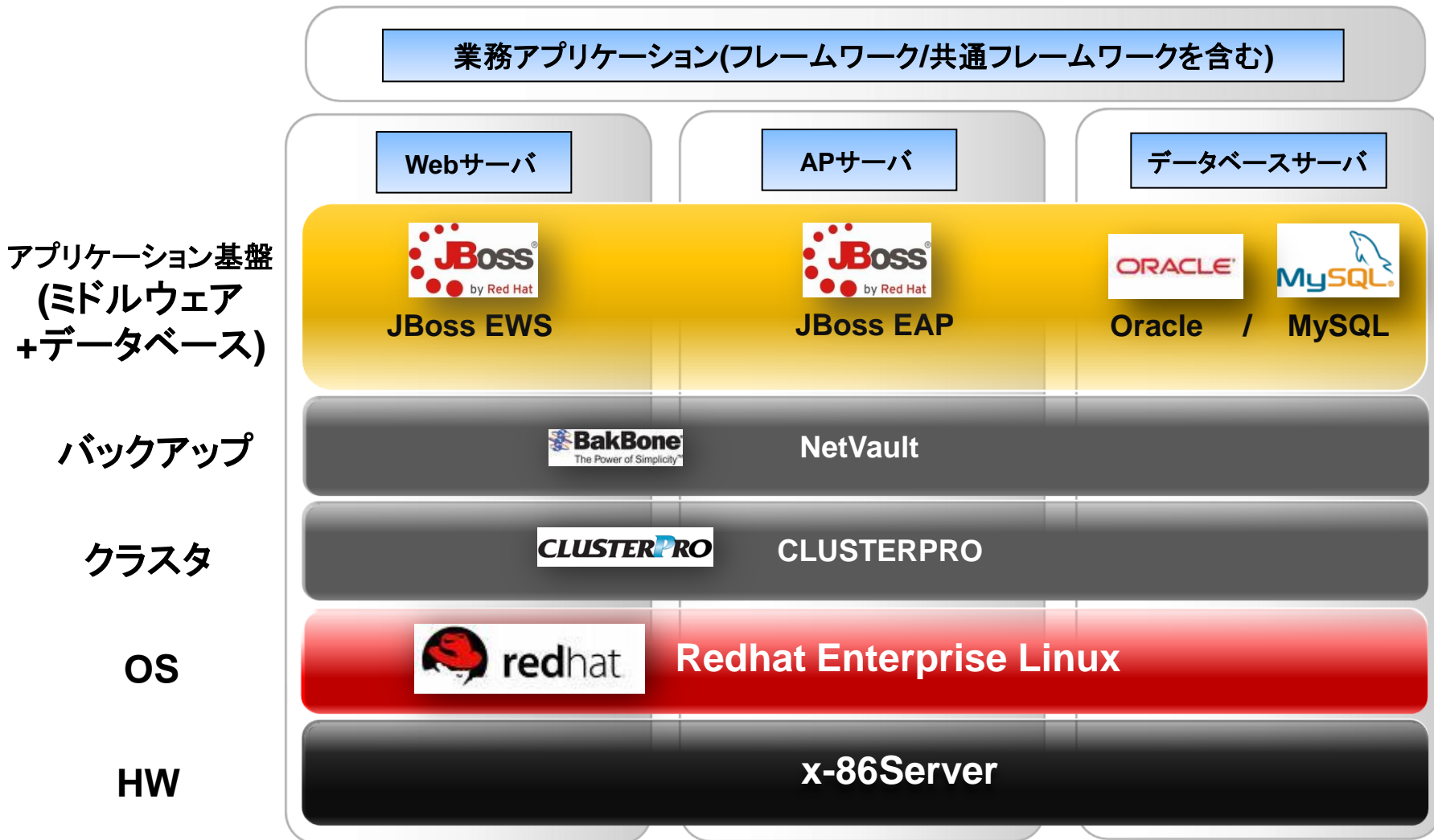
限られた予算下で、業務システムに戦略投資を行うためにITインフラは出来る限りのコストセーブを行う必要がある。しかし、サービスが著しく低下するのは×

■ 1.ミドルウェアとは？ JBossの位置づけ

■ 2.コスト削減への考え方

ミドルウェアとは？ その位置付け

一般的なWebアプリケーションで使われる3階層システムを例にして

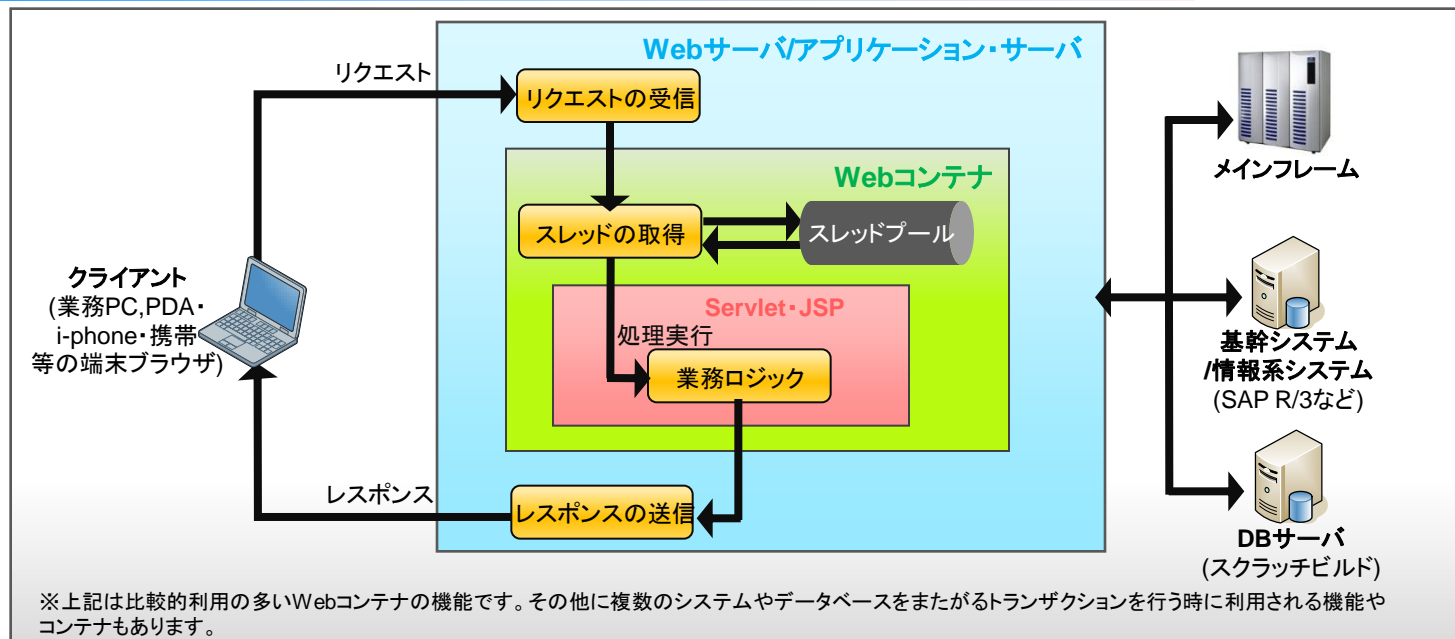


Webサーバ/アプリケーション・サーバとは

なぜ、アプリケーション・サーバが必要か？

- 開発工数と生産性が圧倒的に上がる。
- アプリケーションサーバなしではJavaEEのメリットを享受できない。
- 企業システムに求められる異機種混在間で使用される開発言語Javaの実行環境。

Webサーバ/アプリケーション・サーバの基本機能

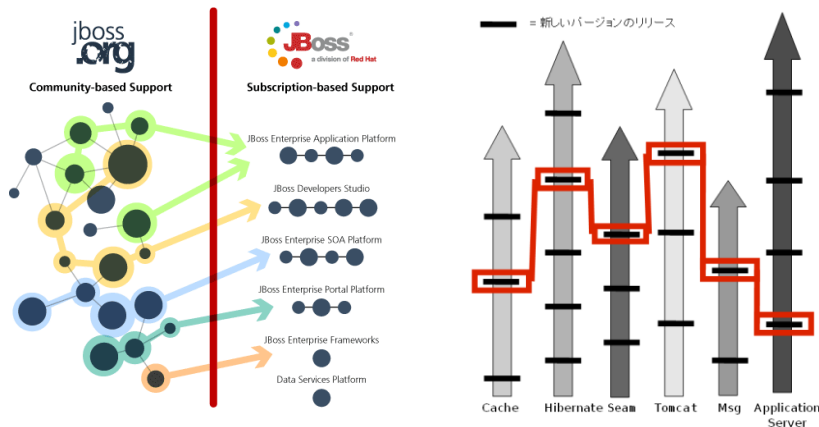


代表的なWebサーバ・アプリケーション・サーバ

- Webサーバ Apache/Microsoft IIS
- アプリケーションサーバ IBM Websphere/Oracle Weblogic/Redhat JBoss/Tomcat

JBossとは

JBossとは



オープンソースコミュニティの製品を Red Hatが品質保証・テスト工程を踏み、企業での利用に耐えうるレベルでリリースをしている。
アプリケーション・サーバ中心にフレームワークやSOA・ルールエンジン等を JBossEnterpriseMiddleware“としてブランド化した製品群のこと

なぜ、Redhat JBossか？

- ライセンス購入費がかからない。サポート費(サブスクリプション)のみのため、安価に導入が可能。
- Redhatによる製品サポートがあるため、商用環境での利用に必須のパッチ提供や仕様変更要求が提供されている。
- 商用製品ではIBMのWebSphere Application ServerやOracleのWebLogic Server に相当する機能・性能を有している。

Redhat JBossの良いところを3つ上げると

- EJBコンテナを実装したJBossEAPの他にApache・Tomcatの商用サポート版(JBossEWS)がある。
- サブスクリプションの単位はCPUはソケットのみ。コアはカウントしない。
- アプリケーション・サーバ以外にもO/RマッピングのHibernateや開発フレームワークのSeamなどのサポートを受けることが出来るため、利用者にとっては他のアプリケーション・サーバにないメリットを得れる

■ 1.ミドルウェアとは？ JBossの位置づけ

■ 2.コスト削減への考え方

ミドルウェアのライセンス費用+サポート費比較

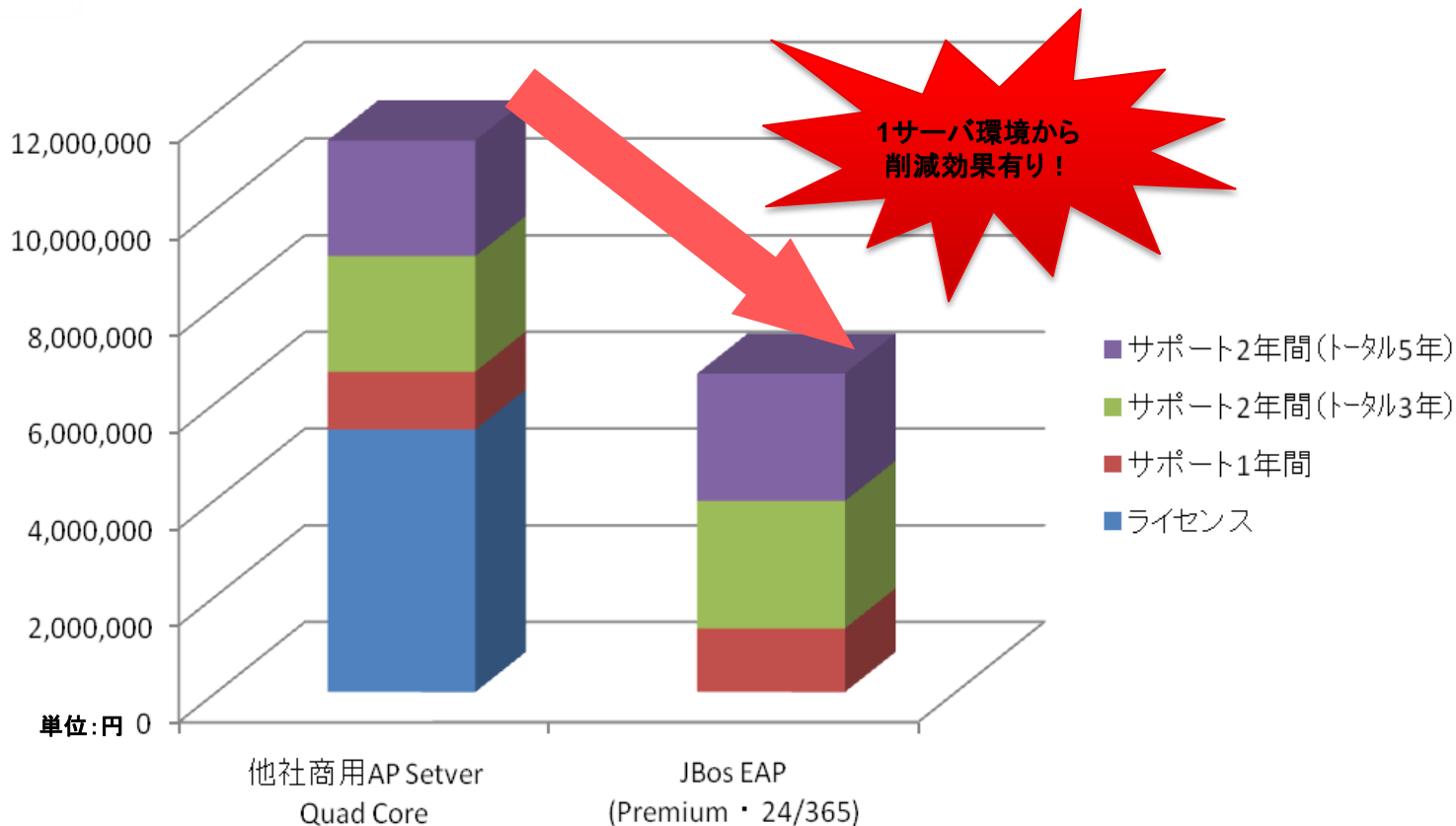
例1 1サーバの場合



1サーバの場合(標準価格にて試算)

単位:円

金額	他社商用AP Setver Quad Core	JBos EAP (Premium・24/365)
ライセンス	5,434,800	0
サポート1年間	1,195,656	1,318,000
サポート2年間(トータル3年)	2,391,312	2,636,000
サポート2年間(トータル5年)	2,391,312	2,636,000
合計	11,413,080	6,590,000



ミドルウェアのライセンス費用/サポート費比較 例2 4サーバの場合

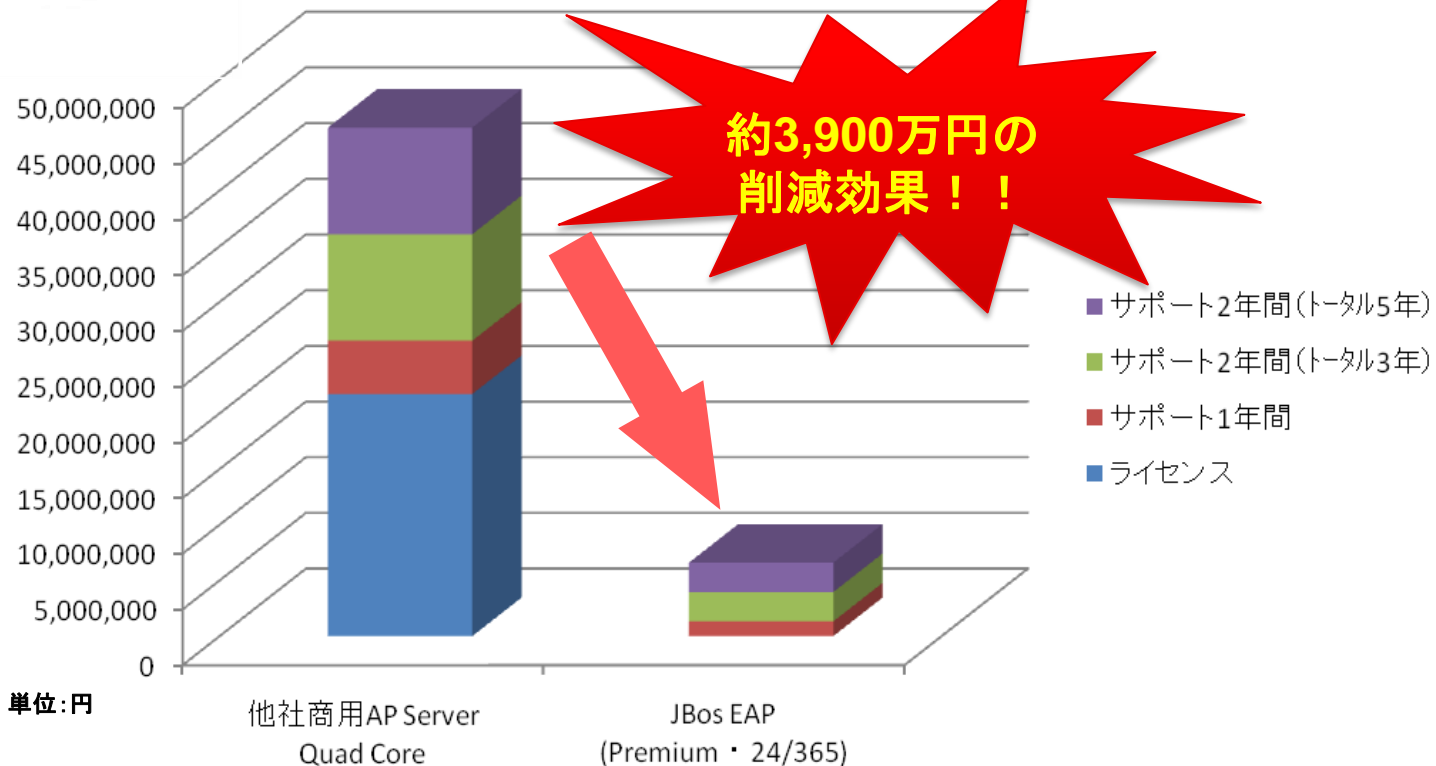
Intel
Pentium 4(Quad)Core



4サーバの場合(標準価格にて試算)

単位:円

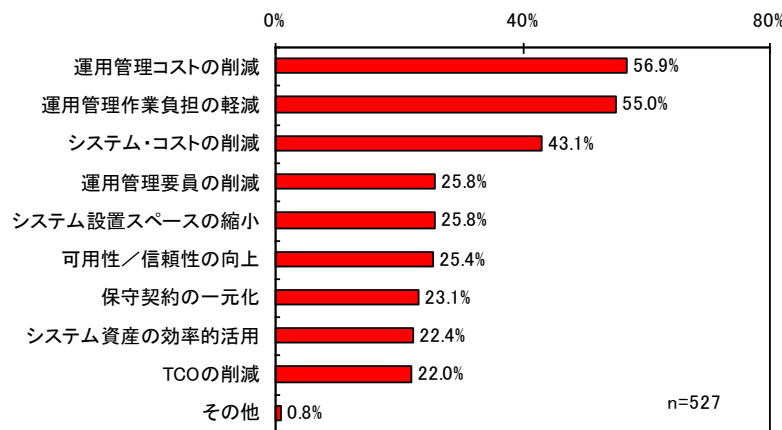
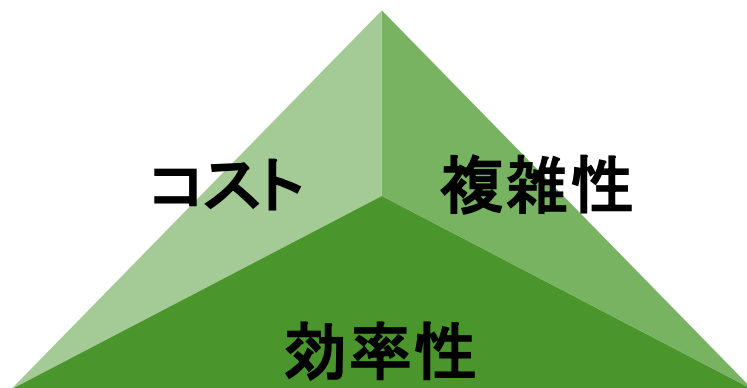
金額	他社商用AP Server Quad Core	JBos EAP (Premium・24/365)
ライセンス	21,739,200	0
サポート1年間	4,782,624	1,318,000
サポート2年間(トータル3年)	9,565,248	2,636,000
サポート2年間(トータル5年)	9,565,248	2,636,000
合計	45,652,320	6,590,000



ライセンス購買費+サポート費は下がりそう。 いざ、移行へと考えてみると・・・

- さあ、早速、コスト低減のために移行にチャレンジしてみよう。
- …でも、運用・維持管理しているアプリケーションを検証し直すとコストが・・・。データ移行も大丈夫か。手順書の差し替えもしなくては。
- そうなると、単純にコスト最適化に繋がらないのでは・・・。

その通りです。



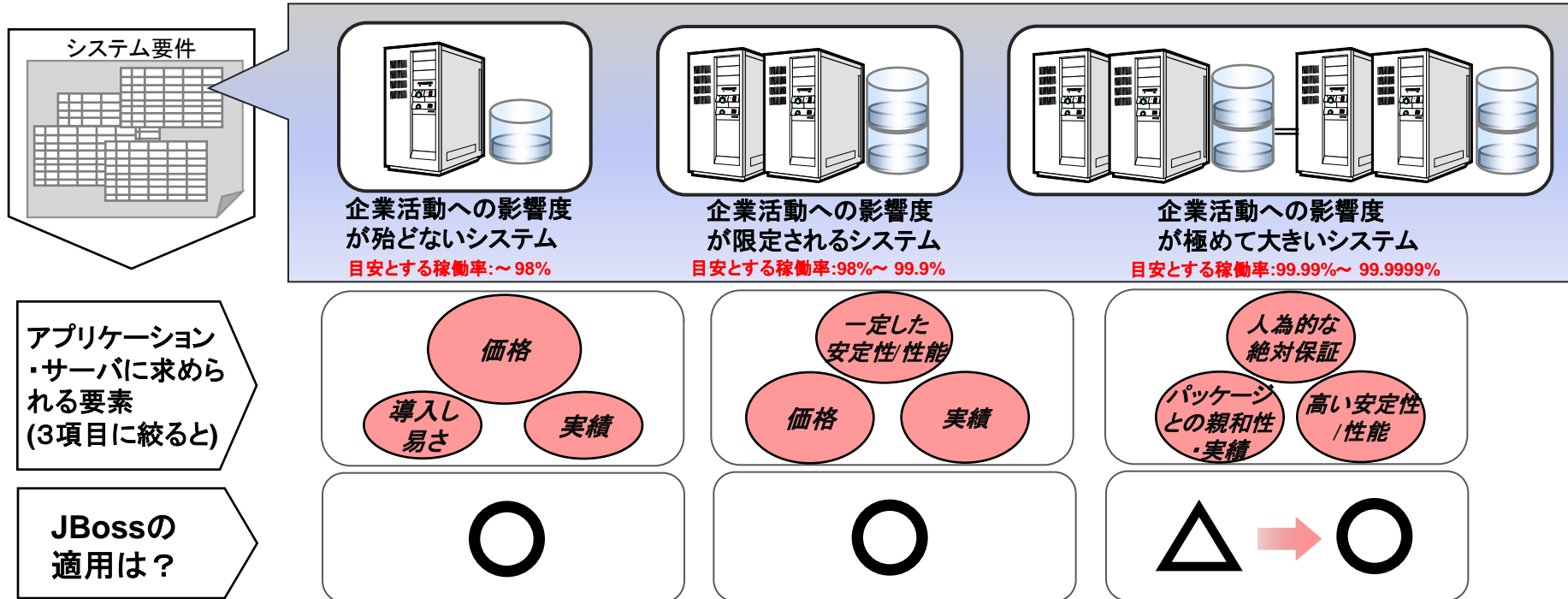
出典：ガートナー ITデマンド調査室より

そのため、実際には新規システム導入時・既存システムのバージョンアップ時・更改時や中期計画検討時にJBoss移行を策定される企業が現在、増えています。

⇒Solaris→Linuxへの環境移行時と併せて実施するとコスト最適化が図れます。ご検討をいただく時期に差し掛かりました。

システム要件にあわせて、 アプリケーション・サーバの選定・移行を

システム要件(非機能要件)とアプリケーション・サーバ

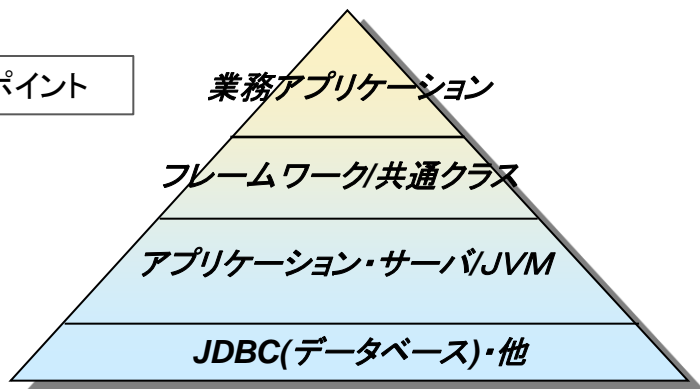


基本的なアプリケーション・サーバの選定ポイント

- 拡張性/信頼性/可用性/保守性
- セッション管理機能
- トランザクション管理機能/高速処理機能
- データベース接続性/応答性機能
- セキュリティ機能
- システム開発期間の短縮化可能な 共通的なフレームワーク基盤の採用の有無

アプリケーション・サーバ移行に際しての流れ

階層毎の移行ポイント



1.調査

開発時の設計情報の確認

アプリケーション・サーバ毎の固有機能の依存度調査

JavaEE上位バージョン利用への影響度調査

2.事前設定

アプリケーション・サーバの設定ファイルを事前に定義する

(移行先で業務アプリケーションのデプロイを行うとエラーが出ないようにするため)

3.テスト

移行先のアプリケーション・サーバに業務アプリケーションのデプロイを行い、テストを行う

基本的にはJavaEEの基本仕様に沿っている箇所はエラーは出にくい

4.修正

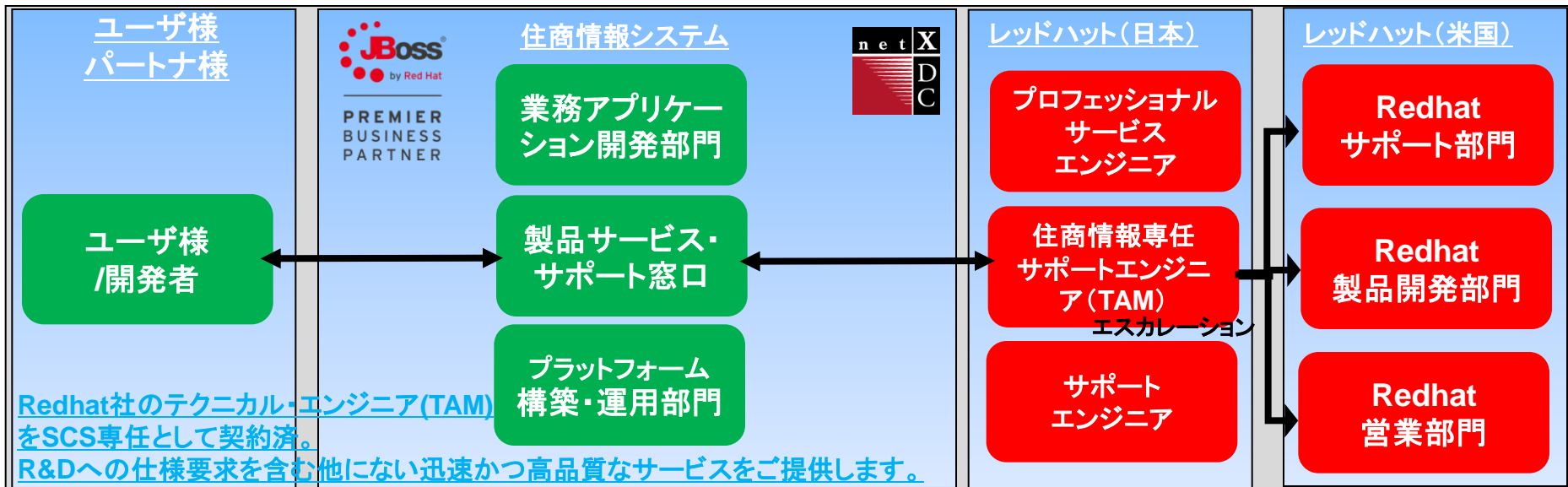
エラー箇所について、修正を行う。

基本的にはデプロイメント・ディスクリプターなどの機能やJavaEEコンテナの依存等を注力して、修正を行う。

弊社では移行にあたってサービスメニューを用意しております。

住商情報システムの取り組み

Redhat JBoss関連サービスのご紹介



弊社JBoss関連サービスのご提供

- ✓ **アセスメント(調査)サービス**
- ✓ **アーキテクチャ設計・開発標準化設計支援サービス**
 - リファレンス・アーキテクチャ設計
 - サンプルコード提供/仕様決定
- ✓ **構築・導入サービス**
 - 導入実績をもとにした構築・導入
 - 他APサーバからのマイグレーション
- ✓ **ユーザー教育**
 - 開発プロジェクトご担当者様や運用担当者様向けの教育を実施
 - トラブルシューティングスキルの教育と体制化支援
- ✓ **OSSワンストップサービス**
 - OSやDB(MySQL等)とのワンストップサービス・サポートがご提供可能です。



お問い合わせ先



PREMIER
BUSINESS
PARTNER



住商情報システム株式会社
Sumisho Computer Systems Corporation

ご不明な点がございましたら、下記担当者まで是非お問い合わせください
〒104-6241 東京都中央区晴海1丁目8番12号 晴海アイランドトリトンスクエア
住商情報システム株式会社
【JBossに関するお問合せ】

ITエンジニアリング事業部 ミドルウェアソリューション部 営業担当 奥
TEL:03-5166-1320 FAX:03-5859-3087
E-mail: jboss-sales@ml.scs.co.jp